

みずほCustomer Desk Report 2025/08/28号(As of 2025/08/27)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	147.56
TKY 9:00AM	147.48	1.1638	171.76	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	148.18	1.1642	171.90	1.3478	0.6496
SYD-NY Low	147.30	1.1574	171.32	1.3501	0.6513
NY 5:00 PM	147.40	1.1638	171.61	1.3417	0.6463
	147.40	1.1638	171.61	1.3499	0.6506
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	45,565.23	147.16	日本2年債	0.8600%	▲0.0100%
NASDAQ	21,590.14	45.87	日本10年債	1.6200%	0.0000%
S&P	6,481.40	15.46	米国2年債	3.6137%	▲0.0674%
日経平均	42,520.27	125.87	米国5年債	3.7004%	▲0.0446%
TOPIX	3,069.74	▲ 2.25	米国10年債	4.2372%	▲0.0272%
シカゴ日経先物	42,580.00	65.00	独10年債	2.6933%	▲0.0276%
ロンドンFT	9,255.50	▲ 10.30	英10年債	4.7340%	▲0.0050%
DAX	24,046.21	▲ 106.66	豪10年債	4.3310%	0.0100%
ハンセン指数	25,201.76	▲ 323.16	USDJPY 1M Vol	9.48%	0.32%
上海総合	3,800.35	▲ 68.03	USDJPY 3M Vol	9.50%	0.19%
NY金	3,448.60	15.60	USDJPY 6M Vol	9.50%	0.12%
WTI	64.15	0.90	USDJPY 1M 25RR	▲1.14%	Yen Call Over
CRB指数	300.74	2.29	EURJPY 3M Vol	8.23%	0.07%
ドルインデックス	98.23	0.01	EURJPY 6M Vol	8.52%	0.05%

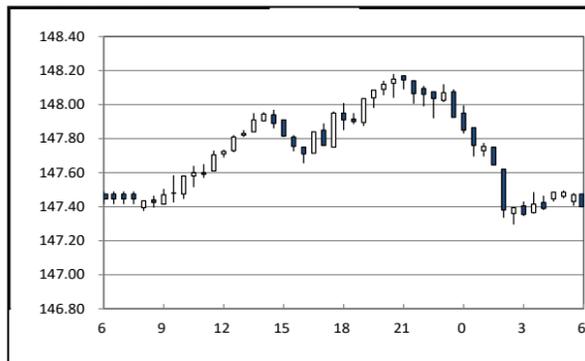
【昨日の指標等】

Date	Time	豪	Event	結果	予想
8月27日	10:30	豪	CPI(前年比)	7月 2.8%	2.3%
	10:30	豪	CPIトリム平均値(前年比)	7月 2.7%	-

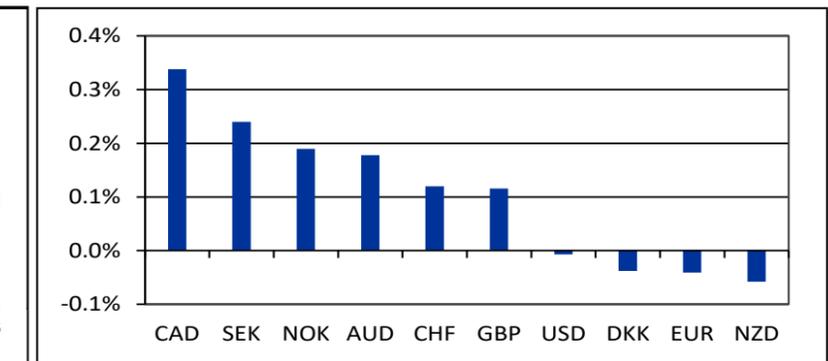
【本日の予定】

Date	Time	欧	Event	予想	前回
8月28日	18:00	欧	消費者信頼感・確報	8月 -	-15.5
	18:00	欧	鉱工業信頼感指数	8月 -10.2	-10.4
	18:00	欧	サービス業信頼感指数	8月 3.9	4.1
	20:30	欧	ECB議事要旨	-	-
	21:30	米	GDP(年率/前期比)	2Q S 3.1%	3.0%
	21:30	米	個人消費	2Q S 1.6%	1.4%
	21:30	米	新規失業保険申請件数	23-Aug 230k	235k
	23:00	米	中古住宅販売仮契約(前月比)	7月 -0.2%	-0.8%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	146.70-148.20	1.1600-1.1700	170.50-172.30

【マーケット・インプレッション】

引き続きレンジ相場を予想。  
 本日は中川審議委員が山口県金融経済懇談会にて講演を予定している。8月上旬に公表された日銀主な意見では関税政策見極めに2-3か月必要との意見もあったことに加え、先のジャクソンホール会合にて植田日銀総裁は負の需要ショックに言及しており、現時点では年内の利上げの時期が示唆されない可能性が高い。その為、利上げ慎重姿勢を示す場合には円売りで反応するだろうが、直近は148円台での実需の売り圧力も意識されており、レンジ内での動きに留まると予想。

東京	東京時間のドル円は147.48レベルでオープン。仲値にかけて実需の買いもあってドル買いに転じると、その後もじりじりとドルが買われる展開に、147.97まで上昇。その後小幅に巻き戻され、147.76レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	ドル円は147.76レベルでオープン。新規材料に乏しいなか米金利上昇に連れられてドル買い優勢の展開となり、148.18レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	NY市場のドル円は特段注目の経済指標発表が無い中、クックFRB理事の解任に関する報道を背景としたFRBの独立性が懸念され、米金利の低下に伴った売りが優勢となり、147.60付近まで下落。午後は米金利が下げ幅を拡大する動きが一段の重しとなり、147.30まで値を下げる。その後は下げ渋り、147.40レベルでクロス。一方、ユーロドルは1.1590付近を中心とした推移が続くも、先述のクック理事解任報道を受けたドル売り地合いから上昇し、1.1642まで上伸。午後は高値圏の1.1630付近を中心とした推移が続き、1.1638レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。